

(仮称) 滋賀県立高等専門学校 最適県有地の選定について

【選定経過】

STEP1 最低要件による絞り込み

- ① 20,000 m²以上の土地であること
- ② 用地取得済であること（または速やかな用地利用が確実であること）
（県有地のため、全土地該当）
- ③ 法令上、高専の設置が可能な土地であること
- ④ 「災害レッドゾーン」および「災害イエローゾーン」に該当しないこと

●STEP 1（最低要件）を満たす土地は次の6か所

1. 旧長浜北高校跡	長浜市山階町	更地	44,339 m ²
2. 県大敷地内	彦根市八坂町	駐車場、空き地	約 25,000 m ²
3. 旧野洲川	野洲市市三宅	林	43,178 m ²
4. 旧しゃくなげ園	日野町小御門	更地	20,451 m ²
5. 旧農技センター	長浜市木之本町	建物、農地	25,867 m ²
6. 旧リゲインハウス用地	東近江市大森	山林	148,892 m ²

STEP2 設置場所選定の要件による比較検討

要件 (配点)	校地 (60)	交通 (60)	周辺 (60)	連携 (60)	総合 (30)	コスト	合計 (270)	特徴
旧長浜北高校跡	48	17	43	26	5	0	139	◎校地形状良 ×交通アクセス
県大敷地内	19	20	48	40	5	14	146	◎連携良 ×交通アクセス、校地
旧野洲川	34	48	41	22	10	-4	151	◎交通アクセス ○バランス △校地
旧しゃくなげ園	30	16	33	11	0	0	90	
旧農技センター	28	19	34	8	0	-4	85	
旧リゲインハウス用地	45	16	39	5	0	-100	5	

↑

総合点を加算

総合点(30点)：当該立地を活かした魅力ある学校づくり

- (視点)
- ・独創的な教育・活動
 - ・将来展開
 - ・全体への波及効果

バランス点(10点) ※今回はこちらのみ

- ・全体が平均以下 : 0点
- ・全体が平均以上かつ平均以下の項目あり : 5点
- ・全体が平均以上かつ平均以下の項目なし : 10点

独自提案(市町PR等)(20点)

○上記の結果より、最適県有地については、**旧野洲川(麿川敷)**としたい。

ただし、用地の形状が細長形状であり、学校施設配置上制約を受けるという課題があり、そのことを付記する。

○最適県有地を示した後、当該県有地の当落にかかわらず、当該県有地を含めた市町からの追加的な提案を認めることとしたい。

例：県有地の横の市町有地・民有地と一体となった提案

県有地付近の市町有施設の活用提案

県有地での学校運営に関する市町独自の支援、経済界の支援 等

(今後の予定)

5月25日(水) 第3回懇話会

↓

6月8日(水) 常任委員会(最適県有地説明)

市町からの提案地募集(～7月初め)

7月 第4回、第5回懇話会

8月 常任委員会(場所決定)